

Oome News Letter

全世界が注目！～RE100とは！？～

RE100とは？

「RE100」という国際イニシアチブをご存知でしょうか。RE100とは、事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟するイニシアチブで、「Renewable Energy 100%」の頭文字をとっています。

2014年に発足したRE100には、2018年9月時点で、世界全体で144社が加盟しており、アップル、ナイキ、ネスレなど、世界的な企業が数多く参加しています。日本企業では、リコーの参加を皮切りに、イオン、大和ハウス、アスクルなど10社が現在加盟をしています。右図の分類を見ると、金融、食品・消費財、製造業、IT・通信業が多いことが分かり、特に金融業界では再エネ企業に対するファンドを創設するなど、さまざまな動きが出てきています。

また、7月には環境省が加盟しました。公的機関の参加は環境省が初めてで、今後、庁舎などでの再エネ100%を進めていくとともに、より多くの日本企業が「RE100」に参加するよう支援していく方針です。

<RE100の参加条件>

RE100に参加するには2つ要件があります。

①事業運営を100%再生エネルギーで行う宣言をする。具体的には・・・

(1) 自社施設内や他の施設で再生可能エネルギー電力を自ら発電する。

自社の再生可能エネルギー発電所で発電された電力の消費は、電力系統に連系されたものでも、そうでないものでも構いません。

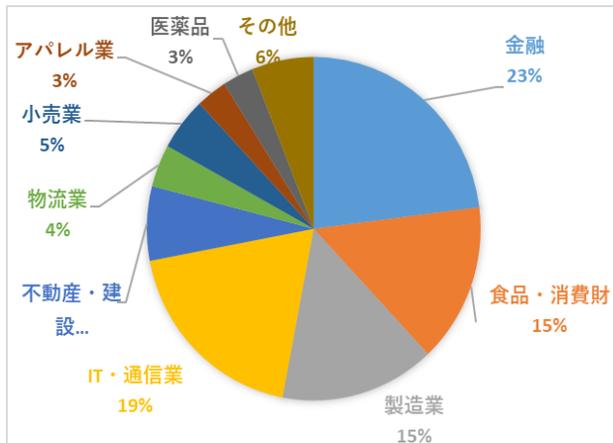
(2) 市場で発電事業者または仲介供給者から再生可能エネルギー電力を購入する。

再生可能エネルギー電力の購入は、再生可能エネルギー発電所との電力購入契約(PPA)、電力事業者とのグリーン電力商品契約、グリーン電力証書の購入のいずれの方法でも可能です。

②毎年、報告書を提出する。

RE100の加盟企業は、毎年「CDP気候変動」の質問票のフォーマットで報告書を作成し、進捗状況をRE100

<業界別加盟企業>



事務局に提出しなければなりません。また、報告書に記載する再生可能エネルギー電力発電や消費の情報は、第三者監査を受けなければなりません。報告された情報は、RE100のホームページや年次報告書の中で公開されます。

<自家消費型の時代に>

RE100はまず大企業中心に加入が進められていますが、大企業のステークホルダー＝中小企業へも波及が進んでいます。中小企業にとっても再エネを利用することによる「電気代削減」、「節税」、「非常用電源としての活用」等様々なメリットがあります。また環境へ配慮している企業としての対外的なPRともなります。将来的に再エネに取り組んでいる企業は大企業からの仕事が舞い降りるチャンスにもつながります。

当社では、自家消費型太陽光のご相談も承っております。ぜひこの機会にご連絡ください！

株式会社大目商店

ご相談

各種申請

お見積り

無料

〒720-0843

広島県福山市赤坂町赤坂1389-1

TEL：084-951-2334

FAX：084-952-2038